

平成21年3月24日
京阪電気鉄道株式会社

京阪電車の全駅・全ホームに ホーム点字ブロック内方線を整備します

京阪電気鉄道株式会社（本社：大阪府中央区、社長：上田成之助）では、すべてのお客様にやさしい駅をめざし、エレベーターやスロープによる段差解消などを中心とした、駅のバリアフリー化に取り組んでいます。

このたび、その一環として平成21年度内（平成21年4月～平成22年3月）に、京阪電車の全86駅（ケーブル線および京都市交通局管理の御陵駅を除く）全ホーム204箇所、ホーム点字ブロック内方線（ホーム縁端警告ブロック）を完備します。

ホーム点字ブロック内方線は、視覚障がいをお持ちの方が、駅のプラットホームをご利用になる際、点字ブロックよりホーム中心側にいらっしゃるか線路側にいらっしゃるかをお知らせするためのもので、ホーム下への転落事故の防止に効果があります。

ホーム点字ブロック内方線の法的な敷設基準は、駅の新設時や大規模改良時にのみ設置義務があり、既設ホームはその対象外となっていますが、より安心・安全な駅をめざし、全駅・全ホームへ設置することにしました。

整備計画の概要は別紙のとおりです。



ホーム点字ブロック内方線

(別紙)

1. 整備箇所 51 駅・105 番線

2. 費用 約34百万円

参考：平成21年3月24日現在の整備状況

路線	駅数	ホーム番線数
京阪本線・鴨東線	42 (25)	112 (78)
中之島線	4 (4)	9 (9)
交野線	7 (1)	14 (2)
宇治線	7 (3)	14 (6)
京津線	5 (0)	11 (0)
石山坂本線	21 (2)	44 (4)
合計	86 (35)	204 (99)
整備率	40.7%	48.5%

()内の数値は整備済数を示す

以上